

4団体7施設廃止を

県行革委提言 県見直し計画策定へ

毎日 9/15

◆外郭団体の見直し◆

【廃止(4)】びわこ空港周辺整備基金、県下水道公社、
 ※賀一雄記念財団、県住宅供給公社
 【統合(2)】県文化振興事業団、県障害者雇用支援センター

◆施設の見直し◆

【廃止(7)】滋賀会館、しが県民芸術創造館、県民交流センター、水環境科学館、虎御前山教育キャンプ場、アーチェリー場、琵琶湖文化館
 【移管・売却(17)】きゃんせの森、朽木いきものふれあいの里センター、三島池ビジターセンター、日野溪園、安土荘、長浜荘、さつき荘、きぬがさ荘、福良荘、醒ヶ井養鱒場、奥びわ湖スポーツの森、荒神山少年自然の家、栗東体育館、柳が崎ヨットハーバー、伊吹運轉場、比良山岳センター、ライフル射撃場

深刻な財政難に直面している県は外郭団体や施設の廃止・統合を検討している。嘉田由紀子知事が設置した「県行政経営改革委員会」（委員長、大道良夫・滋賀銀行頭取）が8月に外郭4団体と7施設の廃止を提言。これを受けて年内には見直し計画を策定し、今後5年間の実施計画の策定に入る。

廃止を提言した4団体は、びわこ空港周辺整備基金▽県下水道公社▽糸賀一雄記念財団▽県住宅供給公社。「民間でも目的が果たせる」ことを理由に挙げている。同じく7施設は、滋賀会館▽しが県民芸術創造館▽県民交流センター▽水環境科学館▽虎御前山教育キャンプ場▽アーチェリー場▽琵琶湖文化館。で、利用率の低さや老朽化などを指摘している。

法人税収への依存度が全国的にも高い滋賀県は今回の経済不況で大打撃を受け、来年度予算が230億円足りない状況に陥っている。8月21日に大道委

「地域の文化、守って」

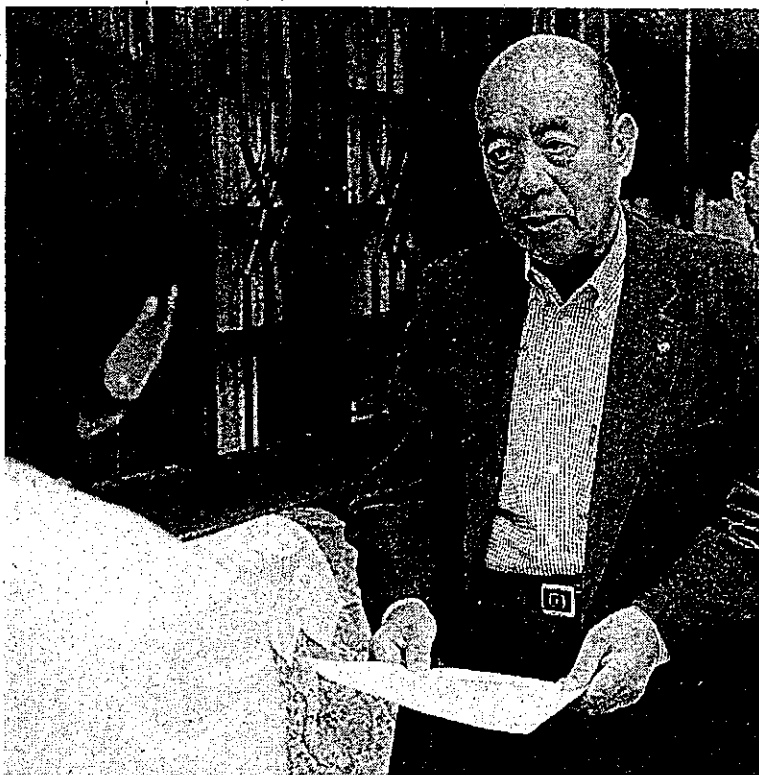
対象の団体 存続へ嘆願署名

見直しの対象となっている団体や文化施設の利用者からは存続を求める声が上がっている。吹奏楽や合唱などの音楽団体や美術団体は1日から、しが県民芸術創造館の存続を求める署名運動を展開。既に1700人分を集めたという。同館を含む3施設と1公園の指定管理者として管理・運営している財団法人滋賀県文化振興事業団は14日、嘉田由紀子知事に再考を求める

意見書を提出。岸野洋一理事長は「地域に根ざした文化を守ってほしい」と訴えた。

員長から提言書を受け取った嘉田知事は「県は財政破綻のかけっばは財政事情を県民に説明しながら計画をまとめたい」と述べた。

【後藤由耶】



は国宝と重要文化財を213点収蔵、その量は全国の博物館で6番目に多い。水族館、プール、レストランもある「総合レジャー施設」だった開館当初は年間来場者数は10万人を超えていたが、水族館が琵琶湖博物館に移った96年以降は2万人前後に低迷。同館長の山田栄蔵・県文化財保護課長は廃止提言に「くやし」と漏らした。

提言で、「可能な限り早期に廃止」と位置付けられた「しが県民芸術創造館（草津市）の端洋一・事業課長は「利用が増えていた矢先になぜ廃止に」と戸惑う。ホールの利用率は開館以来70%台を維持し、08年度は約72%。利用者らでつくる同館の存続を願う会は「私たちの創造活動の足場。財政が厳しいとはいえ、納得しがたい」と、1万人を目標に署名を集める構えだ。

【後藤由耶・安部拓輝】

嘉田知事に意見書を手渡す岸野洋一・県文化振興事業団理事長

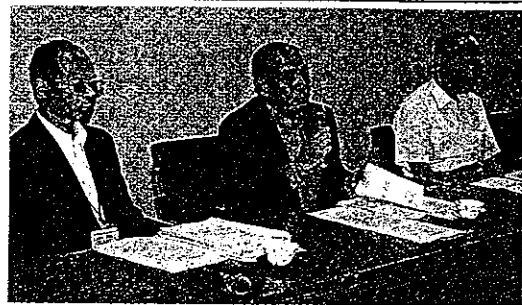


県行革委提言を疑問視

県文化振興「施策が後退する」 事業団意見書

県文化振興事業団(岸野洋理事長)は十四日、文化事業の見直しなどを求めた県行政経営改革委員会の提言について、「県の文化施策を後退させる内容」として疑問視する意見書を嘉田由紀子知事に提出した。

(林勝)



県の文化施策の見直しに異議を唱える岸野洋・県文化振興事業団理事長(左)と大津市の滋賀会館で

事業団は先月、県の外郭団体や公共施設の廃止などを盛り込んだ提言書を嘉田知事に提出。事業団は提言書の内容への反論や疑義を論。事業ノウハウは同ホールより

も事業団の方に蓄積があるとして「事業団がびわ湖ホールを統合する方が文化的、効果的、効率的に推進できる」と主張した。

事業団が運営し、提言書で廃止を求められた滋賀会館やしが県民芸術創造館については「交流施設として再生を」「県民ニーズが高く継続すべきだ」などと訴えた。事業団職員

外郭団体見直し
提言に意見書
滋賀県文化振興事業団
滋賀県行政経営改革委員会による外郭団体などの見直し提言に「びわ湖ホール」への統合が盛り込まれた県文化振興事業団(岸野洋理事長)は14日、提言に対する意見書をまとめ嘉田由紀子知事に手渡した。県の外郭団体が意見書を出すのは異

例。岸野理事長は「文化行政の後退は避けたい。行革プランが固まる前から、意見を取り入れてもらう余地もある」と話している。

意見書では事業団が来年度に寄付で税制優遇が受けられる公益財団法人に改組するなどの改革の取り組みや、地域文化振興ノウハウを持つ点を指摘し、「事業団がびわ湖ホールを統合するほうが合理的」とした。

「廃止提言に疑問」
知事に意見書提出
朝日 県文化振興事業団
行政経営改革委員会が提言した、県の11施設・団体の廃止に対し、県文化振興事業団の岸野洋理事長は14日、嘉田由紀子知事に意見書を提出し

た。

岸野理事長は「県の文化振興の判断がなされないまま、採算性と効率性だけに重点を置いて提言している点に疑問がある。慎重に検討してほしい」と訴えた。嘉田知事は「滋賀にはどういった文化振興がいいのか考えないといけない」と話した。

県の文化施設統合・廃止提言に疑問

振興事業団が意見書

滋賀県の外郭団体である財団法人「滋賀県文化振興事業団」(岸野洋理理事長)は14日、県行政経営改革委員会が同事業団の廃止などを提言したことについて、存在、存続にかかわる。知事に提出した。

会場で岸野理事長は「(提言は)事業団の存在、存続にかかわる。真に県民や社会のニーズに対応したものの疑問が残る」とする意見書を嘉田由紀子知事に提出した。

県行革委の提言には、同事業団が管理運営する「滋賀会館」(大津市)と「しが県民芸術創造館」(草津市)の廃止のほか、同事業団自体も財団法人「びわ湖ホール」に統合したうえでの廃止検討が盛り込まれている。

事業団は意見書で「(提言は)採算性と効率性に重点を置いたものであり、これまでの県の文化施設の方針を転換、後退させる」と強調している。

また、事業団の統合先とされるびわ湖ホールについては「県派遣職員が半数を占め、数年で異動する」と指摘、広範な文化芸術活動のノウハウを持つ事業団



文化施設の廃止提言に疑問を示す意見書を発表する
県文化振興事業団の岸野洋理理事長(中央) 大津市
京町3丁目の滋賀会館

がびわ湖ホールを「逆統合」する方が効率的で効果的だとしている。意見書を受け取った嘉田知事は「滋賀の文化を確実に次に受け継げるかが大切だ。どんな文化振興ができるか、一緒に知恵を傾けたい」と話した。

(高橋晴久)

「採算性重点文化は後退」

滋賀会館など廃止 方針で県外郭団体 県行革委提言に「反論」

県の外郭団体「県文化振興事業団」(岸野洋理事長)は14日、指定管理者として運営する滋賀会館(大津市)やしが県民芸術創造館(草津市)の廃止を盛り込んだ県行政経営改革委員会の提言に対し、「採算性と効率性に重点を置いており、文化施策の方針を後退させる」として、存続を求める意見書を嘉田知事に提出した。

提言では、事業団が運営する文化産業交流会館(米原市)と希望が丘文化公園(湖南市など)についても運営改善が必要としたほか、事業団のびわ湖ホールへの統合も言及している。意見書では、滋賀会館について「県方針で文化施設の役割を終える2010年3月以降も管理運営をした」と要望。しが県民芸術創造館についても「ホールの稼働率も上昇中。照明設備の改修も行われているところだと訴えた。希望が丘文化公園と文化産業交流会館については「利用率の低い施設の有効活用策を再点検したい」「湖北・湖東地域の文化拠点として不可欠」と理解を求めた。

一方、事業団の統合には「びわ湖ホールは県職員が数年で異動するため、文化芸術の情報、技術が蓄積されない。事業団がホールを統合する方が文化施策を効果的に推進できる」と反論した。

県は委員会の提言を踏まえ、年内に方針を決める予定。岸野理事長から意見書を手渡された知事は「どうい文化振興ができるのか、これからよく考えたい」と答えた。

知事に存続求める意見書

県文化振興事業団、行革委提言受け

9/15 741



嘉田由紀子知事(左)に意見書を手渡す県文化振興事業団の岸野洋理事長

県庁

県行政経営改革委員会が県に提言した外郭団体の見直しをめぐり、「財団法人びわ湖ホール」への統合が提言された「財団法人県文化振興事業団」は14日、事業団の存続などを求める意見書を嘉田由紀子知事に提出した。

同事業団は、滋賀会館(大津市)やしが県民芸術創造館(草津市)など4文化施設の指定管理や、滋賀の歴史や自然などを紹介する季刊誌「湖国と文化」を発行している県の外郭団体。

県行革委が8月21日に嘉田知事へ提出した提言では、同事業団の同ホールへの統合や同創造館の廃止などが盛り込まれている。意見書では、同ホールへの統合について「文化芸術に関する長年のネットワークやノウハウを蓄積した職員がいる事業団が同ホールを統合すべき」と反論。同創造館の廃止についても「ホールの稼働率は平成20年度で72%で、来館者も12万人を超えている。県民ニーズの高い施設であり存続すべき」と訴えている。

事業団の岸野洋理事長は「提言を受け、県の方針が固まる前に事業団の置かれている現状を分かちてもらいたかった」と述べ、嘉田知事は「現場の思いを生かす改革をしたい」と答えた。